

## 阿部裕行 市長による講演

今回のワークショップのテーマである「市民主権のまちづくり」について、市長より講演がありました。

### 「市民主権のまちづくりについて」

4月に市長に就任しましたが、市長を志した理由は、行政にお任せのままではいけないという危機感があったからです。国でも自治体でも私たち自身がこの地域をどうつくっていくかを一歩踏み出して考えなければ、まちはよくなりません。市民主権とは、「私たち一人ひとりが権利者であり、主役である」ということです。ぜひ、たくさんの知恵を出して、ともにいいまちをつくっていきたいと思います。どんな人に対しても思いやりのある、ホスピタリティあふれるポジティブ多摩をしっかりつくっていきましょう。

## 参加者から寄せられた感想

### 《市民ワークショップに参加した理由・・・》

- ・政治に市民は関わるべきだという気持ちがあったから。(10歳代 男性)
- ・社会勉強のため。ワークショップがどのような雰囲気か体験したくて。(20歳代 女性)
- ・市民として、市政に携われると思って参加。(40歳代 男性)
- ・多摩市になにかお返しができたらと思って参加。(60歳代 女性)

### 《市民ワークショップに参加して良かった理由・・・》

※アンケートに回答いただいたすべての方が「参加して良かった」と回答しています！！

- ・市政に参加したいと思うようになった。(20歳代 男性)
- ・多摩市の見えなかった部分、知らなかった部分を知ることができた。(30歳代 男性)
- ・色々な世代の方の意見が聞けて有意義だった。(40歳代 女性)
- ・市民として、より良いまちづくりに協力すべきと考えるようになった。(50歳代 男性)
- ・自分も参加しなければという想いをもてた。(70歳代 男性)

### 《今後の改善点は・・・》

- ・時間が短かった。テーマを絞って、深く掘り下げた方が良かったのではないかな。
- ・もっと回数を重ねて、じっくりと話し合った方が良いのでは。資料の提供をもっと早くして欲しかった。

市民が主役の活発な議論ができました！



To be continued...

## 今後の取り組み

今回の市民ワークショップでいただいた内容は、市民参画で得た貴重な意見として詳細にとりまとめ、第五次多摩市総合計画の基本計画の検討・審議に活用させていただきます。

お問い合わせは、こちらまで

多摩市 企画政策部 企画課

TEL : 042 (338) 6813 FAX : 042 (337) 7658

# 市民 ワークショップ 開催結果概要

平成22年11月15日発行

発行：多摩市 企画政策部 企画課  
住所：多摩市関戸6-12-1  
電話：042-338-6813  
FAX：042-337-7658



## 市民主権のまちづくりをめざして！！ 第五次多摩市総合計画基本計画の策定に向けて 市民ワークショップが開催されました！

多摩市では、第五次多摩市総合計画基本計画の策定にあたり、11月6日（土）、7日（日）の2日間、市役所にて市民ワークショップを開催し、目指すまちの姿を実現するための市民と行政の役割分担や基本姿勢について話し合いました。

本ワークショップでは、様々な世代から幅広くご意見をいただくため、18歳以上の市民2,000名を年齢構成のバランスに配慮し無作為で選び、ご案内した方のうち参加の承諾をいただいた方から更に抽選で参加者を決めさせていただきました。

当日は、最年少は18歳、最年長は76歳と、実に幅広い世代の方49名が集まり、9～10人構成の6グループによる活発なワークショップが行われました。



### ～ 当日のプログラム ～

1日目		2日目	
時間	内容	時間	内容
9:00～9:05	主催者あいさつ	9:00～11:30	ワークショップ② 「目指すまちの姿を実現するための市民と行政の役割について」
9:05～10:05	趣旨・プログラム説明 情報提供： ①市民主権のまちづくりについて ②多摩市の概要について	11:30～12:30	昼食休憩
10:05～10:15	各班の議論テーマのくじ引き	12:30～13:40	ワークショップ②の続き
10:25～12:00	ワークショップ① 「目指すまちの姿を実現するための市民と行政の役割について」	13:50～14:30	発表
12:00～13:00	昼食休憩	14:30～14:40	情報提供（基本姿勢）のおさらい
13:00～15:00	ワークショップ①の続き	14:50～16:05	ワークショップ③ 「計画を実現するための基本姿勢（市民主体のまちづくり）について」
15:10～16:10	発表	16:15～16:45	発表
16:10～16:20	2日目のテーマくじ引き、解散	16:45～16:55	閉会の挨拶（講評）、解散

# 目指すまちの姿を実現するための市民と行政の役割について

## 目指すまちの姿1 子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち

- |  |  |
|--|--|
| <b>C班</b><br><b>【市民の役割】</b><br>・外へ出てみんなと遊び、自ら学び<br>・声かけ交流を持つ。町内会へ参加する<br>・絵本の読み聞かせや子どもに読書を促す | <b>【行政の役割】</b><br>・思いっきり遊べる環境の整備<br>・教育者のための教育や教師を評価する仕組み<br>・ボランティアへのサポート |
| <b>F班</b><br><b>【市民の役割】</b><br>・子どもとかかわるボランティアへの参加<br>・家族ぐるみで地域イベントに参加<br>・高齢者が地域で子どもを教育     | <b>【行政の役割】</b><br>・子育て関係者のスキルアップ<br>・教師の質向上<br>・子育て相談窓口を充実                 |

## 目指すまちの姿2 みんなが明るく、安心して、いきいきと暮らしているまち

- |   |  |
|---|--|
| <b>B班</b><br><b>【市民の役割】</b><br>・積極的に運動したり健診を受ける<br>・食生活や運動を心がけ自発的に健康管理<br>・障がい者への理解を深め交流する    | <b>【行政の役割】</b><br>・健康づくりイベント開催や健診の情報発信<br>・生涯を通して健康管理できる仕組みをサポート<br>・公共施設での障がい者の就労の場を増やす |
| <b>E班</b><br><b>【市民の役割】</b><br>・健康増進につながるイベント企画・参加<br>・地域福祉に対する理解、意識を深める<br>・障がい者への理解に努め行動をとる | <b>【行政の役割】</b><br>・既存施設の多機能、多目的化を図る<br>・高齢者パワーを活用する機会提供<br>・無保険者をなくす                     |

## 目指すまちの姿3 みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち

- |   |  |
|---|--|
| <b>C班</b><br><b>【市民の役割】</b><br>・自治会や管理組合に積極的に参加<br>・地域の食べ物や言葉を継承<br>・平和について個々が考え話し合う              | <b>【行政の役割】</b><br>・市民意見交換会開催のきっかけづくり<br>・地域活動やイベントの開催告知をサポート<br>・誰もが参加できるイベントの呼びかけ |
| <b>E班</b><br><b>【市民の役割】</b><br>・様々なサークルを作り自らイベント企画運営<br>・家庭内で平和についての教育をきちんと行う<br>・市の行事に意識的に参加していく | <b>【行政の役割】</b><br>・お年寄りと若者との交流の場の創出<br>・地域づくりに関する情報提供の充実<br>・名物スポットをつくる            |

## 目指すまちの姿4 働き、学び、遊び、みんなが活気と魅力を感じるまち

- |   |   |
|---|---|
| <b>A班</b><br><b>【市民の役割】</b><br>・商店街での買い物を増やす<br>・休耕地を利用した収穫体験<br>・直売所の拡大。地産地消         | <b>【行政の役割】</b><br>・観光地へのシャトルバスや市内巡回バス<br>・多摩センター駅付近のバリアフリー化<br>・市民農園を増やす            |
| <b>D班</b><br><b>【市民の役割】</b><br>・地元で買い物するようにする<br>・地場産業に興味を持つ<br>・どのようなまちにしたいかを市民自ら考える | <b>【行政の役割】</b><br>・商店街振興のための小規模店舗の育成、助成<br>・バスや歩道など交通の便をより良くする<br>・体験学習や農業イベントのサポート |

## 目指すまちの姿5 いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち

- |  |   |
|--|---|
| <b>A班</b><br><b>【市民の役割】</b><br>・自主防災組織をつくる呼びかけを行う<br>・人にやさしい自転車マナーを子どもに教育する<br>・学生や市民団体を巻き込んで美化活動を行う | <b>【行政の役割】</b><br>・自転車道の整備<br>・街路樹で信号が見えない場所対策<br>・バス停の整備               |
| <b>D班</b><br><b>【市民の役割】</b><br>・防犯グッズを子どもに持たせる<br>・自転車も自動車も安全運転で<br>・ごみのポイ捨て意識の改善                    | <b>【行政の役割】</b><br>・災害時のマニュアル整備<br>・ミニバス運営充実。循環バスのより良いルート<br>・自転車専用道路の整備 |

## 目指すまちの姿6 人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち

- |  |   |
|--|---|
| <b>B班</b><br><b>【市民の役割】</b><br>・公共交通を利用する（所有からシェアへ）<br>・グリーンカーテンの利用で省エネ<br>・ごみを資源化。資源は価値があることを知る | <b>【行政の役割】</b><br>・暗い高架下をアート空間に<br>・用途変更を含めた公園活用の見直し<br>・環境保全の市民活動を評価し奨励する仕組み |
| <b>F班</b><br><b>【市民の役割】</b><br>・自動車利用を避け、バス、自転車へシフト<br>・ポイ捨てしない<br>・家庭でも環境問題を話し合う                | <b>【行政の役割】</b><br>・レンタサイクル、自転車専用道の整備<br>・事業所へのCO2削減の指導<br>・地域ごとのゴミ減量レースを奨励する  |

## ワークショップ③

# 計画を実現するための基本姿勢（市民主体のまちづくり）について

- |   |   |
|---|---|
| <b>A班</b><br>・情報提供、共有の推進。市民参加のホームページづくり（NPO等の活用）<br>・市政に市民意見を反映させる仕組み。定期的な市民会議を設ける<br>・地域での協働による自治の推進。自治会、近所づきあいを大切に                | <b>B班</b><br>・関心を持ち、地域住民自身で解決する意識。「やってもらう」から→「一緒にやっていく」へ<br>・市民一人一人が小さなアクションをおこす（挨拶やイベントの誘い合いなど）<br>・市長からコミュニケーションをとってもらおうと伝わりやすい |
| <b>C班</b><br>・市政検討会の開催。市長と担当課長以上が参加し、市民の声を受け止める会を定期的開催<br>→自治会とも連携をとり、検討会での議論内容を市民全体へフィードバック<br>・住みたくなるまちづくり（みんなが働けるまち→ワーキングプアをなくす） | <b>D班</b><br>・市民は知る！行政は知らせる！<br>・「行政側の情報提供」→「市民の評価と要望を提示」→「行政の見直し」のようなサイクルを回す<br>・まちおこしイベントに積極的に参加し、市民主体のまちづくりに対する個人の意識改革         |
| <b>E班</b><br>・市民の役割を市がきちんと伝える<br>・市民の意志が行政に反映されたことをアピール<br>・市民に問題意識を設定させる   | ・情報共有の推進として市政情報をデジタル配信<br>・インターネット活用で負担少ない市民参加  |
| <b>F班</b><br>・行政から発信された情報に耳を傾ける<br>・市政に参加する権利を活かす<br>・家庭や学校等で意見交換。家庭で話し合う   | ・行政が発信する情報を市民として活かす<br>・メディアにだまされず自分で考える<br>・自治会への理解、協力   |



## 総括 ～ワークショップを終えて（企画政策部長）～

2日間に渡り7時間を超える話し合いをしていただき、皆さん一人一人、多摩市への熱い情熱を持っていることが、ひしひしと感じられました。市民の皆さんには、地域での様々な関わりを強めることが、これからの多摩市に必要なことではないかと感じております。皆さんからの貴重なご意見を踏まえ、今後の計画策定に活かしていきたいと思っております。これからも多摩市を良くするためにお互いに頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。2日間、ありがとうございました。

